

## 加西ふるさとミーティング 2017 夏 質問等一覧

市内 10 小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「市民が求める病院、地域に必要な医療とは」と題し、自治会運営を担われている皆さまを中心に参加していただきました。会場でお聞きした提案や意見をお知らせします。

今後の病院運営に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所	参加者数
日吉小学校区	7月18日(火) 19:30~21:00 北部公民館	29名
タウンミーティングでのご意見		
No	意見概要	回答
1	丹波市では、予防接種実施判定システムを導入され、市民からも好評であるというのを聞いている。参考にしていきたい。	研究させていただきます。
2	中学生の熱中症対策として補水液などの常備や体育館内の温度計、湿度計の設置など対応されているか。	熱中症対策は、現在も対策を講じていますが、今後も色々な工夫をしていきます。
3	医師が減少している原因の追究。	神戸大が大病院化した所へ医師を主に派遣していることや、京阪神からの利便性が悪い病院へ来たがらない医師の指向などが原因で減少しています。

4	医師が増えれば、収入が増えるのか。	医師が一人減ると、約1億円の収入減となります。内科だけで医師が8人減となったので、約8億円減少したことになります。
5	神戸大以外から医師を派遣してもらったらいいのでは。それができないのなら、開業医に協力して頂き、官民一体の体制ができないか。	<p>神戸大が大病院化した所へ医師を主に派遣していることや、京阪神からの利便性が悪い病院へ来たがらない医師の指向、などが原因で減少しています。</p> <p>地域医療として、各病院とも連携をとっています。神戸大以外の医師については簡単ではなく、今後継続的に医師の確保を行う上では、別の大学の医師をお願いすることには大きなリスクがあります。また、医師が減ったため、患者が減ったことは間違いありません。</p> <p>開業医とは患者情報を共有するなど連携を取っており、今後介護施設とも同様の連携を取っていく必要があると考えています。</p>
6	未収金の対策はどうなっているのか。	<p>職員、看護師が一体となって取り組んでいます。また、患者となるべく接触する機会を増やす努力をしています。しかし、保険未加入の方の未収金が残るケースがあります。</p> <p>民間業者に委託している近隣病院の情報では、弁護士事務所を通して回収されている事例があるため、現在検討しています。</p>
7	開業医との連携を図りながら、医師確保をお願いしたい。また、手術分野（件数）を増やすことや、加西病院が強かった循環器分野を伸ばすことにより、市民に加西病院を選んでもらえるようになるのはいかがでしょうか。	<p>患者さんに対し、できない医療は適切な病院を紹介していきます。今までは、急性期（発病から間もない時期）は1～2週間で退院していましたが、回復期（急性期が終わってから数カ月）の病棟を増やし、できるだけ納得してもらった上で、退院してもらうことに力をいれています。</p> <p>包括ケア病棟（回復期）は、最長60日入院できます。今後、在宅ケアマネージャー、開業医さん等と連携をとりながら最適な医療を提供していきますので、加西病院をご利用ください。</p>

8	別の病院から派遣されている医師を増やせないか。	医師数36名の中にカウントされていませんが、他院からも応援を受けています。今後も、増やしていきたいと考えています。 今までは、内科医が揃っていた特殊な病院だったのが、減少したこともあり、今後減らないように防いでいる状況です。
9	一般病棟を療養型の方へ移行されているが、一般と療養型と一緒にするには、難しい問題があるのか。ベッド稼働率について、療養型は需要が多い中で、利用率が高いので、経営的に考えるべきだと思う。	加西病院は、今まで急性期だけでしたが、2025年問題等国が推進している病院に移行していく必要があると考えています。その為に回復期を作ることになりました。 現在回復期は1病棟ですが、今後地域包括システムに沿った流れを作っていきます。 医療療養型の入院施設は市内にありませんが、療養型を導入するには専門の医師を設置する必要があります。今後必要になるかも知れません。
10	加西病院で脳ドックをしないのか。	現在脳ドックは、神経内科の医師不足のため、平成29年度から休止しています。医師が確保でき次第、再開したい。
11	加西市には多くの企業があるため、加西病院の人間ドック（脳ドックも含め）のPRをする必要があるのでないか。企業にPRする中で、人間ドックの充実化を目的として、医師確保していただけたらと思います。	検討します。